

2024年度（令和6年度）事業報告

1. 健全なる漫画の普及に関する事業

〔1〕 起き上がりこぼしプロジェクト

主 催：起き上がりこぼしプロジェクト

(A association of Kenzo TAKADA)

協 力：日本漫画家協会 他

内 容：福島のみ芸品の起き上がりこぼしに絵付けをしていただき、震災や自然災害の復興祈念、様々な困難を乗り越える象徴として、展示を行う。最終的には福島県へ寄贈の予定。ウクライナの戦争終息を祈り「平和のための起き上がりこぼし」を募集し、海外での展示を企画進行中。

<https://www.facebook.com/0kiagariKoboshiProject>

〔2〕 山根青鬼画業 75 周年記念展

主 催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 森下文化センター

協 力：日本漫画家協会／山根青鬼一門会

開催期間：2024年9月21日（土）～10月20日（日）

実施場所：森下文化センター1Fロビー

事業内容：田河水泡より「のらくろ」執筆権を継承した「のらくろトリオ」のひとり、山根青鬼氏の画業 75 周年記念展。代表作「名たんていカゲマン」ほか、デビュー作から現在までの原画や単行本等、貴重な作品を展示。

〔3〕 ブロック事業

・日本漫画家協会関西ブロック漫画展

展 名：日本漫画家協会関西ブロック漫画展

会 期：2024年7月3日（水）～8日（月）

実施場所：アートギャラリー北野 11:00～19:00（最終日は17:00まで）

〒604-8005 京都市中京区三条通河原町東入ル恵比須町439-4 コーカビル1F

概 要：外村晋一郎、筑濱健一、田中智海、南洋、ラッキー植松、岡本治、桑原正晴、高月紘、篠原ユキオ、柳たかを、さいわい徹、海原ゆた、武田秀雄、以上13名が参加し、50点超の作品を展示。

・日本漫画家協会中国ブロック展示会

展 名：日本漫画家協会中国ブロック展示会

会 期：2024年11月10日（日）

実施場所：山口井筒屋5階催事場

〒753-0086 山口県山口市中市町3番3号

概 要：中国ブロックの協会の作品を展示し、協会の活動PRや漫画を軸とした地域の方との交流をメインとする展示会。今年は会場が変わり、山口県山口市で行われるサブカルチャーイベント「萌えサミット in やまぐち市」内で開催。

- ・らくがきコーナーの設置
- ・萌えサミットイラストコンテストの管理、採点
- ・地元大学生の作品コーナー

展示点数：中国ブロック会員 2名 7点

（その他）お絵描きコーナーの設置

来場者数：300名程度

〔4〕IMART2024

主 催：（一社）MANGA 総合研究所

会 場：アニメイトシアター（池袋本店）他

協 賛：小学館、講談社、集英社、KADOKAWA 他

特別協力：日本漫画家協会、アニメイト、豊島区、日本アニメーター演出協会 他

会 期：2024年11月12日（火）～15日（金）

目 的：マンガ・アニメ業界の知見の共有、人材交流によって、コンテンツ産業の発展を目的とする国際カンファレンス。クリエイティブ、ビジネス、アカデミック、働き方、アドボカシー等、様々な観点のセッションやプレゼンテーションを行う。並行して行う商談会では、マンガを中心に国内外企業の発展に寄与するネットワーキングをはかる。

内 容：基調講演／セッション（「都条例「不健全図書」改称・「親の生原稿、どうしてる？」ほか）／業界交流会／IMART 国際商談会／マンガアニメライツ商談会（国内）／学生アニメ・マンガビジネスコンテスト／IPマーケット市場規模調査 他

〔5〕巳年年賀状展

主催：(公財) 通信文化協会
協力：日本漫画家協会、(一社) 日本絵手紙協会
会場：郵政博物館 企画展示場
会期：2024年12月21日(土)～2025年1月19日(日)
開館日数 23日間(休館日除く)
内容：(展示構成・展示予定資料)
年賀状の歴史／へび切手大集合／まんが年賀状／みんなの絵手紙年賀状展 2025／重要文化財「エレキテル」の公開
(関連イベント)
小型印の押印サービス／絵手紙教室／新年運だめし くじびき／クリスマスフラワーショップ／寒中見舞いを作りました／エレキテル機能模型の実演

〔6〕東京アニメアワードフェスティバル2025

主催：東京都アニメアワードフェスティバル実行委員会、
(一社) 日本動画協会
共催：東京都
特別協賛：豊島区
協力：アニメーション美術家連盟、CG-ARTS、(一社) 日本アニメーター・演出協会
後援：日本漫画家協会、国際交流基金、文化庁 他
会場：(東京・池袋) としま区民センター、WACCA 池袋、池袋の映画館5館、Mixalive TOKYO Hall Mixa、サンシャインシティ 他
開催日程：2025年3月7日(金)～10日(月)／授賞式：2025年3月10日(月)
内容：新たな人材を発掘・育成、アニメーション文化と産業の振興に寄与することを目的とし、『東京がアニメーションのハブになる』を合い言葉に、高いクオリティとオリジナリティに富む世界中の作品を東京で上映し、世界中のアニメーションを愛する人々との交流を図り、クリエイターや観客に刺激と感動を提供し、そしてその感動や刺激を糧にアニメーションの新たな波を東京から世界へ発信する。

〔7〕第11回全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐

主催：まんが王国・土佐推進協議会(高知県)

協賛・協力：金高堂、講談社、小学館、セルシス、ワコム 他
後援：日本漫画家協会、高知県教育委員会、高知市教育委員会 他
会場：高知市文化プラザ かるぽーと7F
開催日程：2025年3月1日（土）

内容：2015年から開催している早春の一大まんがイベント。

まんが王国・土佐が、これまでに築いてきたまんが界のネットワークを通じ、高知県に全国の有名漫画家を迎え、多彩なイベントを開催している誰でも楽しめるプログラムが盛りだくさんのイベント。

イベントプログラム：

世界まんがセンバツ受賞作品発表／藤岡ファミリー親子対談／生配信「不思議大百科」漫画にまつわる不思議な話／「世界マンガ会議」／1xy先生トークアンドライブドローイング／「青春爆走！」研そうげん／福本伸行「二階堂地獄ゴルフ」スペシャルトークライブ／茨木政彦×林士平トークライブ「漫画の過去と未来」

2. 漫画創作活動の奨励に関する事業

〔1〕第53回日本漫画家協会賞

主催：日本漫画家協会

目的：漫画文化の普及と日本漫画界の向上発展をはかる目的のもとに優秀作品を顕彰する。

募集期間：2023年12月5日（火）～2024年1月12日（金）

選考日：2024年4月9日（火）

選考場所：日本漫画家協会・オンライン

選考委員会：

委員長：里中満智子

委員：池川佳宏 石子順 木村直巳 くさかり樹 篠原ユキオ 島本和彦
ジョルジュ・ピロシキ 永野のりこ ねもと章子 原正人

表彰日：2024年6月13日（木）

表彰場所：帝国ホテル 東京

受賞者：

【大賞】

- ・コミック部門 「かろりのつやごと」小田ゆうあ
- ・カーズーン部門 「TAKUPEDIA」古川タク

・ 萬画部門「ちいかわ なんかに小さくてかわいいやつ」ナガノ

【まんが王国とっとり賞】

「龍とカメレオン」石山諒

【まんが王国・土佐賞】

「去年の雪」村岡栄一

【文部科学大臣賞】

「ながやす巧 全作品」ながやす巧

〔2〕 第33回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）

※令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

主 催：高知県、まんが王国・土佐推進協議会

共 催：高知県高等学校文化連盟

協 賛：日本漫画家協会、三菱電機、全日本空輸 他

協 力：（公財）高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

（公財）やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団 他

後 援：高知市、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会 他

募集期間：2024年4月5日（金）～2024年6月6日（木）

予選審査会：2024年6月14日（金）

本選大会：2024年8月3日（土）～4日（日）

実施場所：（予選審査会）高知県庁正庁ホール

（本選大会）高知市文化プラザかるぽーと

事業内容：1992年に高知県で始まった高校生のまんがNO.1を決める競技大会で3～5人のチームを組み、出題されたテーマから1枚のまんがを制作し、限られた時間内で競い合う。この大会を開催することで、国内外の高校生が集い、海外校を含めた地域間・世代間の交流促進と高校生の文化活動を支援する。

〔3〕「第20回まんがの日記念・4コマまんが大賞」

主 催：高知市・横山隆一記念まんが館

主 管：（公財）高知市文化振興事業団

協 力：日本漫画家協会、やなせスタジオ

協 賛：G・Too

募集期間：2024年4月5日（金）～9月5日（木）

審査発表：2024年11月3日（日・祝）

※なお、2024年12月14日（土）～2025年1月13日（月・祝）、横山隆一記念まんが館において、第20回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」入賞作品と併せて一次審査通過作品などの展示を行う。

〔4〕 Big Eggs 2024

主 催：札幌マンガ・アニメ&声優専門学校

協 力：日本漫画家協会、日本漫画家協会北海道ブロック、（一社）マンガジャパン 北海道芸術高等学校 他

開催場所：札幌マンガ・アニメ&声優専門学校校舎／大通公園ホール

開催期間：2024年11月1日（金）～3日（日）

内 容：2009年に「北海道からマンガ・声優・アニメのプロを輩出する！」という目的のもとに立ち上がったイベント。集英社・小学館などの有名マンガ編集部が参加し、プロマンガ家デビューに直結するチャンスあり！「こちら北海道マンガ出張編集部」（マンガ・アニメ部門）、「こちら北海道イラスト部」（イラスト部門）、「BIGEGGS VARIA」（声優部門）等を対面またはオンラインにて実施。

〔5〕 第9回北のまんが大賞

主 催：北海道、札幌市

協 力：北海道 MANGA 交流会、エアードライブ、三省堂書店 他

協 賛：セルシス、ワコム 他

後 援：日本漫画家協会、北海道新聞社、各出版社漫画編集部 他

募集期間：2024年6月28日（金）～10月8日（月）

入賞作品発表：2025年2月5日（水）

表彰式：2025年3月20日（木・祝）

内 容：北海道を素材に含む未発表のオリジナル作品の募集。
まんが部門、イラスト部門を設定。優秀作品を顕彰する。

3. 漫画文化の国際交流に関する事業

〔1〕 第18回日本国際漫画賞

主 催：第18回日本国際漫画賞実行委員会

協 力：日本漫画家協会 他

募集期間：2024年4月12日（金）～7月10日（水）

受賞作品発表：2025年1月16日（木）

授賞式：2025年3月12日（水）・外務省飯倉公館

内 容：海外への漫画文化の普及と漫画を通じた国際文化交流に貢献した漫画作家を顕彰。日本の漫画家との意見交換や出版社訪問、地方視察等を行う。当協会としては里中満智子理事長が審査委員長、森川ジョージ・一本木蛮両常務理事が審査委員を務める。

4. 漫画に関する調査研究に関する事業

〔1〕 会員研究者による漫画の研究報告。会報に掲載。

- ・昭和の漫画とその周辺
- ・風刺漫画
- ・漫画史
- ・海外の漫画研究

〔2〕 アーカイブ事業

内 容：昨年の創立60周年を機に、改めて当協会独自のアーカイブ事業実施を検討中。その前段階として、書庫・倉庫整理作業を実施し、貴重な資料の一部選別及び保管作業を遂行した。また、貴重な資料でかつ保管環境的に当協会での保管が難しいと思われる資料については他所への寄贈も検討し、今年度は著名漫画家の寄せ書きがされた「トキワ荘に存在した襖1枚」（寄贈先：豊島区）及び風刺雑誌「PUNCH」153冊（寄贈先：さいたま市）の寄贈を実施。

5. 会報その他出版物の発行に関する事業

〔1〕 会報の発行

261号（2024年6月15日発行） 262号（2024年9月15日発行）

263号（2024年12月15日発行） 264号（2025年3月15日発行）

〔2〕 ホームページ上での情報の発信

内 容：協会関連ニュース、展示会・コンテスト・セミナーその他イベントならびに声明文等の情報発信を行う。

6. 漫画の普及、擁護のための著作権等管理事業

〔1〕 著作権等管理事業

内 容：著作物の円滑な利用の推進のため、日本漫画家協会で行う管理事業。

当協会は、管理を希望する著作権者より著作権の管理を委任され、使用料規程に基づいて、第三者に著作物の利用を許諾する。当協会が管理委託された著作物に関しては、第三者より利用申し込みを受けた場合、原則として当協会の許諾により当該第三者は著作物利用ができる。

〔2〕 授業目的公衆送信補償金事業

内 容：(一社) 授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS) が主体となって著作者、実演家、レコード製作者、放送事業者及び有線放送事業者の権利を有する者（以下「権利者」という。）のために、授業目的公衆送信補償金を受ける権利又は複製権等の許諾権を行使し権利者に分配することによって、教育分野の著作物等の利用の円滑化を図るとともに、あわせて著作権及び著作隣接権の保護に関する事業を行う。SARTRAS を構成する各権利者団体より、権利者へ補償金の分配を行う。漫画分野については、分配業務受託団体である当協会が分配を行う。

〔3〕 図書館等公衆送信補償金事業

内 容：2021年6月に図書館関係の権利制限規定の見直しを含む「著作権法の一部を改正する法律案」が公布され、国立国会図書館や公共図書館、大学図書館等が、権利者保護のための厳格な要件の下で、利用者の調査研究の用に供するため、図書館等資料を用いて、著作物の一部分（政令で定める場合には全部）をメール等で送信することができるよう法改正がなされた（2023年6月施行）。それに伴い、送信された著作物の著作権者には補償金（図書館等公衆送信補償金）が支払われることとなった。2022年11月には図書館等公衆送信補償金を受ける権利を有する者のためにその権利を行使することを目的とする団体として（一社）図書館等公衆送信補償金管理協会（SARLIB）が文化庁長官の指定を受け、当協会は SARLIB 設立時に同団体の構成員となる。当該補償金が発生した場合は SARLIB から当協会を通じて漫画の著作権者に分配されることとなる。

〔4〕 日本複製権センターを通じての企業・団体等内における著作物の複製等の利用

許諾、ならびに同利用許諾に係る使用料の受領、分配に関する事業

内 容：当協会は、言語等の著作物の著作権者から権利行使の委託を受け、企業・団体等の利用者に利用の許諾を行う著作権の集中管理を業務とする(公社)日本複製権センター(JRRC)の会員である著作者団体連合(著団連)の構成員であり、2020年にJRRCと管理委託契約を締結。JRRCにおける企業・団体等内における著作物複製実態調査は2017年を最後にコロナ禍の影響により中断されていたが、2023年に再開。以降、年1回、当該調査が実施され、複製使用料が著団連を通じて当協会にも分配される。

〔5〕 海外著作権関係補償金等分配支援機構を通じての国内の補償金分配等に関する事業

内 容：海外の複製権等管理機構(海外RRO)が徴収した日本の著作物に係る使用料及び補償金の国内権利者団体への分配ならびにSARTRASが徴収した授業目的公衆送信補償金の海外権利者への分配を目的として、2023年度に日本複製権センター(JRRC)、学術著作権協会(JAC)、新聞著作権協議会(CCNP)及び日本著作者団体連合(=著団連。当協会が加盟)により、(一社)海外著作権関係補償金等分配支援機構(JSARRD)が設立された。これに伴い、当協会は漫画に係る授業目的公衆送信補償金等の海外権利者への分配業務をJSARRDに委託予定であり、また近い将来、海外RROからの著作権使用料徴収も期待される。

(以上)